

令和2年7月22日

それでは新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえた県民の皆さんへの呼びかけ、注意喚起をさせていただきたいと思えます。

明日から連休も始まりますので、外出を計画される方もおられると思えます。あらためて移動あるいは感染拡大防止対策の徹底について注意喚起を行います。

新型コロナウイルス感染者の発生について、本県では7月10日に76日ぶりとなる新規感染者の発表をさせていただき、以降この方を含めて2週間弱の間に13名の感染者が発生しました。

三重県では、『三重県指針 ver. 2』において、モニタリング指標を定め、感染拡大の予兆を察知した場合に対策を講じる判断基準としておりますが、直近5日間の状況は、新規感染事例1、新規感染者4、入院患者13となっております。

モニタリング指標からも直ちに措置を強化する段階にはありませんが、短期間で新規感染者が発生しており、引き続き警戒が必要です。

今申し上げましたモニタリング指標との関係においてはこういう形です。直近5日間、この赤枠のところでありませぬども、新規感染事例が1、そして新規感染者数ということでいけば4、そして現在入院されている方が、これは検疫の方も含みませぬども13という形になっております。これを超えている状況にはありませんが、引き続き警戒が必要です。

続いて、東京都心部などにおいては感染拡大が続いており、予断を許さない状況です。

東京都の新規感染者数は、7月に入ってから昨日までに合計3,519人、7月17日には過去最多となる293人の感染者が発生しました。

近隣県でも東京都を感染経路とする事例は増加しており、本県においても、47例目、54例目の方の感染経路は東京都に由来するものと推定されます。

今申し上げたのは47例目、54例目ですけれども、直近の状況につきましても、53例目は大阪府在住の方、54例目は東京都内に5月まで在住で東京都からの来県者との接触があり、55例目の方は大阪府在住の53例目の接触者、家族です。56例目は調査中ということですが、57例目は愛知県で感染確認された方と接触があり、58例目はその方の家族、そして今日発表させていただいた59例目は大阪府在住の方、そのような状況になっております。

これらのこともふまえて、東京都心部をはじめ、東京都心部を経由する首都圏との往来については、その必要性や訪問先について、一度立ち止まって、慎重に考えていただきますようお願いいたします。

また、本県と生活文化圏を共有する愛知県や岐阜県においても、感染者が多数発生しています。昨日の感染者数は愛知県においては53人、岐阜県では14人と両県とも過去最多となっており、飲食店や高校においてクラスターの発生も確認されています。関西圏においても、感染数が増加しており、県内でも大阪から、先ほど説明しましたが、帰省された方の感染が確認されています。

こうした状況もふまえて、多数の人が同じ時期、同じ場所に集まることにより「密」となることを避けるため、訪問の時期や、訪問先について今一度ご検討いただきますようお願いをいたします。

また、感染が拡大している地域では、20代や30代の若い世代の方が多いう傾向がみられます。感染症の専門家からは「今は若い世代が中心だが、40代、50代の患者も増え、さらに重症化リスクの高い世代へと広がっていくことを警戒している。また、東京やその近郊だけでなく、全国に広がりつつあることが懸念される」と指摘されています。

こうした若い世代の方は、軽症や無症状のまま、知らないうちに感染を拡大する可能性がありますので、特に慎重な行動や、感染防止対策の徹底をお願いいたします。

さらに、これから梅雨明けを迎え、県内外からの人の移動が増える時期になります。こうした時期を迎える今こそ、事業者の皆様におかれましては、『三重県指針 ver. 2』や、業種ごとのガイドラインを踏まえ、徹底した感染防止対策をお願いします。

業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは内閣官房が取りまとめておりますが、県の新型コロナウイルス感染症特設サイトにもリンクを貼らせていただいておりますので、該当する業種の最新のものをご活用ください。

県民の皆様におかれましても、「3密」となる場所を避ける、人との距離を十分にとるなど「新しい生活様式」を徹底していただきますようお願いいたします。

また、これまでの繰り返しになりますが、個人への偏見や差別につながる行為や人権侵害、誹謗中傷等を絶対に行わないよう、あらためてお願いをいたします。

感染した方やその家族、関係者が地域や職場、学校において不当な差別、偏見、いじめを受けるようなことは、絶対にあってはならないことです。

感染は自身や大切な家族にも起こりうることで、決して他人事ではありません。先日も申し上げましたが、戦うべき相手はウイルスで、皆様の隣人ではありません。県民の皆様におかれましては、個人や企業への偏見や差別につながる行為、人権侵害、誹謗中傷等は絶対に行わないでください。

ということで、人の移動が増える時期を迎えるにあたりまして、まずは東京都心部、あるいは東京都心部を經由して首都圏、神奈川とか千葉とか埼玉ですね、そういうところへの移動、これについては訪問先、必要性、訪問手段、そういうようなものを慎重に立ち止まって考えてほしい。

また、県外、感染拡大している地域がたくさんありますので、県外にこの移動が増える時期に訪問することを考えておられる方は、訪問時期、訪問先、例えば直近でもたぶん愛知県でそういう飲食店でクラスターが出たりしています。そういうことについて、検討を今一度してほしいと思います。

そして人の移動が増える時期だからこそ、県内の、県内にいても移動が、ご自身が県外とかに移動しなくてもですね、県内におられても事業者の皆さんは、ガイドラインを踏まえて徹底した感染防止対策を今まで以上にしていきたいと思っておりますし、県民の皆さん

も県内で生活をされていても、県外から移動されてきた方とかいろいろな方と接する機会、そういうのが増えてくると思いますので、あらためて新しい生活様式で感染防止対策の徹底をお願いしたいということでもあります。

このような感染拡大の状況を見て、しっかりとあらためて県民の皆さんにお願いをさせていただきたい、そのように思います。それから、これにつきましては7月末までの呼びかけとさせていただきたいと思います。それから8月1日からですね、イベントの基準などについて政府で緩和、これを先送りするなどの一部報道もありますので、その状況を踏まえてあらためてその呼びかけなどについては考えたいと思いますので、まずは7月末までの呼びかけとさせていただきたいと思います。以上です。